

Ⅱ 「東京都産業振興基本戦略」の着実な具体化～23の

NO.	重点的に推進すべき産業振興策	平成23年度における重点的取組
戦略1 重点産業を育成し、東京の産業を牽引する		
◇大都市の課題を解決する産業の育成		
1-1	重点産業におけるイノベーションを支援する	◎大都市の課題を中小企業の技術力で解決 ◎重点産業における「産学公金」のネットワークの形成
◇東京の情報発信力を高める産業の育成		
1-2	世界をリードするクリエイターを育成する	◎若手ファッションデザイナーの発掘・育成 ◎コンテンツ産業などの人材育成を支援
◇高度技術を活用した産業の育成		
1-3	航空機関連産業への中小企業の参入を支援する	◎航空機関連産業への参入をめざす企業を総合的に支援
戦略2 技術・経営革新の促進と経営基盤の強化を図る		
◇新たな製品・サービスの創造		
2-1	産産連携、産学公連携など多様な連携を展開する	◎交流・連携から始まるイノベーションの創出
2-2	新たなインキュベーション施設の展開を支援する	◎インキュベーション施設整備の促進
2-3	中小企業のデザイン力を強化する	◎産学公連携によるデザイン力の強化
2-4	中小企業の地域密着型イノベーションを促進する	◎地域資源の活用による地域密着型イノベーションの創出 ◎地域を担う社会的企業家の育成
◇世界を視野に入れた事業展開力の強化		
2-5	知的財産の戦略的導入を支援する	◎優れた技術を有する中小企業の高度な知的財産戦略導入を支援
2-6	国際的ビジネス機会の拡大を支援する	◎都内中小企業の海外販路開拓を支援 ◎海外企業の東京進出を支援
◇技術・経営基盤の強化		
2-7	多様な金融手法を活用し、企業の資金調達を支援する	◎不動産担保や個人保証に過度に依存しない、 資金調達方法の確保や融資環境の整備 ◎長期の融資制度を推進
2-8	高度化するニーズに対応し、技術・経営支援を強化する	◎大都市課題に対応する研究の推進と成果の還元 ◎産業支援拠点を再編・整備し、技術支援・経営支援体制を強化
2-9	ものづくり産業の成長を支える確かな産業基盤の底上げを図る	◎売れる技術で市場を切り開く“スーパー中小企業集団”の創出 ◎ADR機能の活用による下請取引の適正化実現 ◎計画的・円滑な事業承継・事業再生の実現
2-10	中小企業の技術・経営基盤の安定化を図る	◎中小企業の経営安定と技術水準向上を総合的・継続的に支援 ◎中小企業の資金調達を支援 ◎地域商業の活性化を支援

産業振興策～

NO.	重点的に推進すべき産業振興策	平成23年度における重点的取組
戦略3 「知」が交流し、価値が生まれる魅力ある都市を創出する		
◇ビジネス交流と観光の振興		
3-1	羽田空港の国際化等を契機に国際都市東京をPRする	◎羽田空港の国際化等を契機に戦略的に観光プロモーションを展開 ◎アジアからの旅行者誘致に向けた積極的な取組の推進 ◎コンベンション誘致の強化
3-2	エリアごとに異なる東京の魅力を形成する	◎観光まちづくりの推進 ◎水辺空間の魅力向上 ◎美しい景観の形成 ◎映像を通じて東京の魅力を向上 ◎アニメによる観光客の誘致 ◎多摩・島しょの自然との調和
3-3	来訪者を温かくもてなす都市をつくる	◎外国人旅行者が安心してひとり歩きできる環境を整備 ◎海外と東京の学校交流を促進
◇快適、安全・安心な都市の創出		
3-4	身近な生活圏を支える商店街の振興を図る	◎地域商業の活性化を支援 ◎地域事業者の商店街活動への参画推進
3-5	豊かな都民生活に貢献する農林水産業の振興を図る ～生産基盤の安定と担い手の確保～	◎農地の保全 ◎森林の整備 ◎漁場の再生 ◎担い手の確保
3-6	豊かな都民生活に貢献する農林水産業の振興を図る ～農林水産物の付加価値向上と地産地消の推進～	◎安全・安心・高付加価値な農林水産物の供給促進 ◎都内産農林水産物への理解促進とふれあいの場の拡大 ◎民間・公共での多摩産材の利用促進 ◎“東京の緑”地産地消プロジェクトの推進
◇産業を支えるインフラの整備		
3-7	産業集積、企業立地を促進する	◎産業集積の形成に取り組む区市町村を重点的に支援 ◎東京進出を目指す地方の元気な企業を支援 ◎企業立地促進のための融資制度を推進
3-8	アジアを代表する産業拠点として多摩シリコンバレーを形成する	◎産業集積を維持・発展させ、イノベーションを誘発 ◎産業交流を活性化し、新たなビジネスチャンスを拡大 ◎世界への発信・誘致による、国際競争力の向上
戦略4 産業を牽引し、支える人材を育てる		
◇産業を牽引し、支える人材の確保・育成		
4-1	産業を牽引し、支える人材の確保・育成を図る	◎産業人材の確保・育成
◇多様な人材の活躍支援		
4-2	多様な人材の活躍を支援する	◎新卒者をはじめとした若者の就業支援 ◎女性や高齢者の就業・能力向上を支援 ◎企業支援等により、障害者雇用を促進 ◎企業におけるワーク・ライフ・バランスを促進

戦略1 重点産業を育成し、東京の産業を牽引する

《産業振興基本戦略の考え方》

高い成長性、大きな波及効果、集積の現状などから、イノベーションが期待される産業を重点産業として育成し、成果を他の産業に波及させることにより、東京全体の産業の強化を図る。

《指針－平成23年度の重点的な取組》

大都市の課題を解決する産業の育成(健康関連産業、環境関連産業、危機管理産業)

1-1 重点産業におけるイノベーションを支援する

東京の情報発信力を高める産業の育成(コンテンツ産業、ファッション産業)

1-2 世界をリードするクリエイターを育成する

高度技術を活用した産業の育成(航空機関連産業、情報家電産業、ロボット産業)

1-3 航空機関連産業への中小企業の参入を支援する

戦略1

総括

- 大都市の課題を解決する産業の育成
・大都市の課題を中小企業の技術力で解決する(健康関連産業・環境関連産業・危機管理産業)。
- 東京の情報発信力を高める産業の育成
・世界をリードするクリエイターを育成する(コンテンツ産業、ファッション産業)。
- 高度技術を活用した産業の育成
・東京の強みである高度技術を活用した産業を育成する(航空機関連産業、情報家電産業、ロボット産業)。

- 施策関連局・研究機関・中小企業等の知見・ノウハウを結集し、中小企業等の技術・製品の開発・普及を進め、その成果を環境・危機管理・健康など大都市の課題解決に活用する。
- 成長性と波及効果の高い産業分野について、産学公金のネットワーク構築と事業化に向けて技術・経営の両面から支援する。

長期的には、健康・環境・危機管理の各産業を重点産業として育成するため、各分野における課題や行政ニーズ、企業や業界の抱える問題等を踏まえて公共・民間部門の様々な支援を行うことにより、効果的なイノベーションの誘発・波及を図る。

- 世界で活躍する若手デザイナーを輩出するため、支援対象者を有望な少数精鋭に絞り込んだ上で、発掘からビジネス展開までの支援の仕組みを構築する。
- コンテンツ産業が抱えるさまざまな課題の抽出を行うとともに、今後の振興施策のあり方について検討する。

長期的には、世界をリードする次世代のクリエイターを育成するため、新たな才能の発掘、ビジネスにつなげる機会づくり、経営の支援を引き続き進めるとともに、総合的な支援体制を構築していく。

- 大手部品製造メーカー等と航空機関連産業への参入を目指す中小企業とのマッチングを実施する。
- 中小企業が連携し、共同で航空機関連産業への参入を目指すネットワークの構築とその強化のための取組を支援する。
- 航空機関連産業への参入に必要な品質管理体制の向上を図る企業の取組を支援する。

長期的には、今後の成長性、波及効果、三環状道路等の都市インフラの整備による発展の可能性を踏まえ、IT・エレクトロニクス・ナノテクなどの高度技術を駆使した新技術・新製品開発を支援し、都内中小企業の持つ多様な技術力をさらに高度なものへと引き上げることにより、高度な技術基盤を活用した航空機関連・情報家電・ロボットなどの各産業の育成を支援する。

1-1 重点産業におけるイノベーションを支

1 施策の必要性

- 国際競争が激化し、高付加価値化が求められる中で、東京の産業力を強化していくためには、イノベーションが期待される産業を重点的に育成していくことが必要。
- 東京の強みを活かす産業、成長性と波及効果のある産業を重点産業として戦略的に育成し、成果を他の産業に波及させることが必要。

2 成果と課題

○ 成果

- 「重点戦略プロジェクト支援事業」においては、本プロジェクトにおいて開発した医療用システムが販売代理店を通じて全国の医療機関に導入されるなど新産業創出・産業規模拡大につながるプロジェクトの事業化促進を支援。
- 「社会的課題解決型研究開発助成事業」においては、耐震補強・設計・施工に係る新たな工法を確立し公的機関の技術評価を取得するなど、都市問題の解決や都民生活の向上を実現するための成果を創出。
- 「都市課題解決のための技術戦略プログラム」においては、「環境」ロードマップを策定し公表。また、首都大学東京と都立産業技術研究センターの連携体制として「都市科学・産業技術連携戦略会議」を設置するなど、ロードマップに沿った技術開発や製品開発を推進するための体制を整備。
- 「都市機能活用型産業振興プロジェクト推進事業」においては、「計測・分析器」「半導体・電子デバイス」「ロボット」の3つの産業分野をターゲットとして、それぞれ推進機構を立ち上げ、産学公に加えて金融機関の参加を募り、活発な交流・連携を開始。

○ 課題

- ものづくり産業における国際競争がますます激化し、高付加価値化が求められる中で、どのようにして東京の産業力を強化していくか。
- 東京が抱える都市問題は、環境・危機管理・健康などさまざまに存在する。

3 23年度における取組の方向性

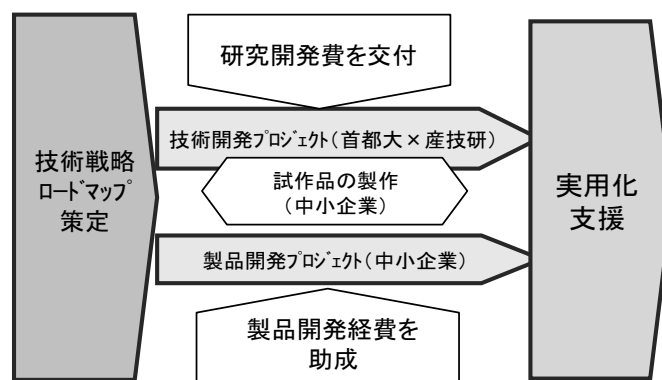
- 施策関連局・研究機関・中小企業等の知見・ノウハウを結集し、中小企業等の技術・製品の開発・普及を進め、その成果を環境・危機管理・健康など大都市の課題解決に活用する。
- 成長性と波及効果の高い産業分野について、産学公金のネットワーク構築と事業化に向けて技術・経営の両面から支援する。

援する

4 重点的取組と主な事業

大都市の課題を中小企業の技術力で解決

- 環境問題などの都市課題を解決する技術革新を促進するため、開発テーマや目標を定めた「技術戦略ロードマップ」を策定し、ロードマップに沿った中小企業等の技術・製品の開発・普及を強力に推進する。
平成22年度の環境分野に引き続き、平成23年度は安全・安心分野におけるロードマップ策定と支援を行う。(都市課題解決のための技術戦略プログラム)

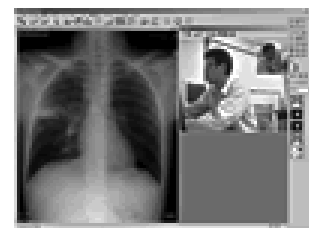


重点産業における「産学公金」のネットワークの形成

- 多摩シリコンバレー形成の核となる産業分野(計測・分析器分野、半導体・電子デバイス分野、ロボット分野)の振興を図るため、産学公金の推進組織を立ち上げ、各産業分野におけるネットワーク構築、人材育成・確保、販路拡大、共同研究・共同開発・マッチング等を支援し、中小企業の新事業拡大と研究開発を促進する。
(都市機能活用型産業振興プロジェクト推進事業)

【重点戦略プロジェクト「医療用遠隔画像診断支援システムの開発・事業化」成果概要】

- ・デジタル画像情報に基づいた医療用の遠隔画像診断支援システムの開発及び事業化。
- ・システムにおける基本的機能、インターフェイスの設計・開発を完了後、事業化を見据え、実証実験を実施。
実証実験の結果を踏まえ、システムの改良作業、運用ルールを策定し、本プロジェクト終了。
- ・本プロジェクト支援期間中に販売代理店契約を締結した大手企業等が窓口となり、現在、本システムの販促活動を継続中。
⇒平成22年11月現在、全国300超の医療機関に導入済み。
(経済産業省助成事業により開発した遠隔医療システム)



遠隔画像診断システム

1-2 世界をリードするクリエイターを育成

1 施策の必要性

- 東京にはマスメディアの集積や巨大消費市場を背景にコンテンツ産業やファッション産業が集積している。これらは文化芸術的側面を持ち、東京のイメージの向上につながる産業であることから重点産業としての育成が必要。
- コンテンツは、メディア上で流通するものに加え、さまざまな業種の商品開発や設計・デザイン、広告宣伝、サービス提供など広範囲にわたって活用されているため、コンテンツ産業を振興することにより、他の産業との相乗効果が期待できる。

2 成果と課題

○ 成 果

- 若手ファッションデザイナー発掘・育成プロジェクト「新人デザイナーファッション大賞」では、毎年1万点を超える応募があり、才能ある若手人材を多数発掘。また、育成・ビジネス支援により、受注・取扱店舗の拡大、東京コレクションや海外への進出等を実現するデザイナーを輩出。
- 東京版スキルスタンダードガイドラインを作成。その普及のため、産業デザイン分野のスキルスタンダードをモデル的に作成し実用性を検証。
- アニメ人材育成・教育プログラム製作委員会において、「アニメの教科書(テキスト)」を作成し、教育機関等に広く販売。教材としての活用により、人材育成に寄与。

○ 課 題

- わが国のファッション産業において優れた才能を持つ若手デザイナーがビジネスとして成功するのに必要な育成の仕組みが十分でない。
- 東京のコンテンツ産業は高いポテンシャルを有しているが、資金力、人材、営業力、知的財産の保護等さまざまな課題を抱えている。

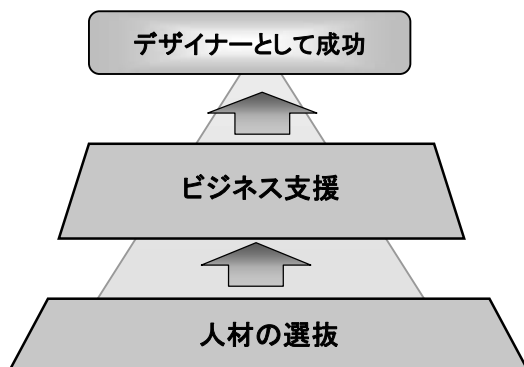
3 23年度における取組の方向性

- ◎世界で活躍する若手デザイナーを輩出するため、支援対象者を有望な少数精鋭に絞り込んだ上で、発掘からビジネス展開までの支援の仕組みを構築する。
- ◎コンテンツ産業が抱えるさまざまな課題の抽出を行うとともに、今後の振興施策のあり方について検討する。

4 重点的取組と主な事業

若手ファッションデザイナーの発掘・育成

- 才能ある若手ファッションデザイナーを選抜し、展示会出展支援や商談マッチングの提供等による実践的なビジネス力の習得を支援。
(ファッション・ビジネス育成支援事業)



合同展における
ビジネスマッチング



ニューヨーク・ファッション・
ウィーク参加

コンテンツ産業などの人材育成を支援

- 都内のコンテンツ制作・流通・教育関係の企業、団体、機関等が連携し、産学公による研究会を設置して、コンテンツ産業の課題抽出を行うとともに、今後の振興施策のあり方について検討する。(コンテンツ産業の振興)

- 東京アニメフェアにおいて、アニメに関する国際的な商談を促進し、クリエイターへのビジネスチャンスを提供する。

(東京国際アニメフェア)
・クリエイターズワールド



東京国際アニメフェアにおける「クリエイターズワールド」

1-3 航空機関連産業への中小企業の参入を

1 施策の必要性

- 航空機関連産業は成長性の高い産業分野であり、航空機は自動車の約100倍の部品点数で構成されるなど、産業としての裾野も広い。都内中小企業が有する高い技術力を活かすことができる分野といえる。
- 高い参入障壁を乗り越え東京発の航空機産業参入成功事例を創出・育成することで、新規分野への挑戦意欲を高揚し、東京のものづくり産業の活性化を図ることができる。

2 成果と課題

○ 成 果

- 航空機産業参入の意欲をもつ中小企業を集め、企業間ネットワークを形成するとともに、PMA会社(注)との交流や、海外航空見本市出展など具体的な市場参入に向けた実践的支援を開始。それにより、商談獲得に向けた動きに発展。

(注) 米国連邦航空局によって、航空機の機体やエンジンを構成する部品の認証を受けた企業のこと。



アマテラス

機械加工や熱処理などにおいてトップクラスの技術をもつ航空部品製造企業連合(都内の10社が参加)

○ 課 題

- 航空機関連産業への参入に当たっては、大手メーカーとのマッチング機会の不足や品質マネジメントシステムの確立が必要であるなど、解決すべき課題が存在。

3 23年度における取組の方向性

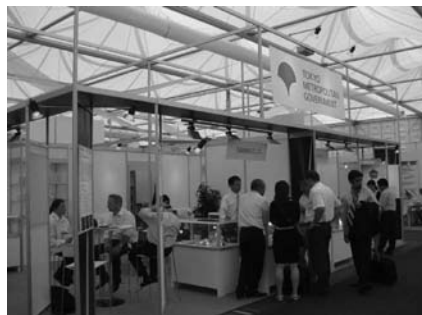
- ◎大手部品製造メーカー等と航空機関連産業への参入を目指す中小企業とのマッチングを実施する。
- ◎中小企業が連携し、共同で航空機関連産業への参入を目指すネットワークの構築とその強化のための取組を支援する。
- ◎航空機関連産業への参入に必要な品質管理体制の向上を図る企業の取組を支援する。

支援する

4 重点的取組と主な事業

航空機関連産業への参入を目指す企業を総合的に支援

○航空機産業への参入の意欲をもつ中小企業を集め、企業間のネットワークを形成するとともに、市場参入に向けての実践的な支援を実施。それにより市場参入に係る成功事例の創出を目指す。**(航空機産業への参入支援)**



平成22年6月「ベルリン・エアショー2010」東京都ブース

